

地元の漁業を学んでほしい

中部地域の漁業について紹介した書籍が完成し5月8日、発行に携わった藪田晃彰さん(女岩区)が御前崎小学校に同書3冊を寄贈しました。藪田さんは「御前崎はおいしい魚がたくさん捕れる。漁業について関心を持ってほしい」と話しました。



子ガメの冥福を祈る

子ガメ供養祭が5月8日、下岬区にあるアカウミガメふ化場で開催されました。ウミガメ保護監視員7人が参加し、ふ化できなかった子ガメを供養しました。高田正義代表は「新たな命が宿ってほしいという思いで供養した」と話しました。



市の10年を市民と振り返る

第2次御前崎市総合計画第1回市民ワーキング会議が5月11日、市役所で開催されました。会議には、市民と市職員が参加してグループに分かれ、これまでの10年を振り返り、良いところや直したらもっと良くなるなど話が合われました。



未来のナースを目指して

ふれあい看護体験が5月17日、市立御前崎総合病院で開催されました。市内外の高校生10人が参加し、看護や医療の知識を深めました。増田みさを副看護部長は「この体験を通じ、医療の仕事に就いてくれるとうれしい」と期待しました。



地球を守るエコ生活を学ぶ

アースキッズキックオフイベントが5月20日、第一小学校で実施されました。4年生児童109人は、自転車発電などを体験しながら、県地球温暖化防止活動推進センターの職員などからエコ生活のヒントを学び、家庭でできるエコ生活の目標を立てました。



国際的な物流拠点の活用を

県内外の荷主や船会社役員など約200人を招き、御前崎港の利用促進を図る視察会が5月25日に実施されました。同港には本年、タイ・ベトナム航路が新設され、石原市長は「国際物流の拠点として今後もさらに港を活用してほしい」と呼び掛けました。

